

29年度 自己評価結果公表シート

なかいず認定こども園

本園の教育目標

1. 園の目標 「みんな元気になかよく育つ、なかいずっ子」

- (な) 中伊豆のこども園では、集団生活を通じた成長過程において、できることは自分でやろうとする自主性、友だちと仲良く過ごせる協調性、して良いことと悪いことがわかる道徳性などの芽生えを培います。
- (か) 家庭的で明るい雰囲気の中で全ての子どもに、心身ともに健やかな成長を促します。
- (い) 色々な音楽や身体を使っての表現、造形などに親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを培います。
- (す) 数量や文字など日常生活の中で体験したり、生き物や自然現象に興味を持ち、それらを正しく理解したり、考えたりする力を培います。
- (つ) 常日頃から、会話や絵本に親しみ、言葉や文字に興味や関心を持ち、あいての話を聞いたり、自分の思っていることが言えるような態度を養います。
- (こ) 子どもたちの健康で安全な生活のために、必要な基本的生活習慣を養います。

2. 重点目標

- * 元気に仲良く遊べる子
- ① あいさつのできる子
 - ② 思いやりのある子
 - ③ 自己表現のできる子

3. 具体的な取り組み

- ① 温かさのある養護・教育にあたり、個に応じた援助の工夫
 - ・一人ひとりの思いを温かく受け止め共感し、子どもの目線で診たり考えたりする。
 - ・一人ひとりの良さを認め、励ましたり援助しながら、意欲や自信を持たせていく
- ② 園児が活動しやすい環境構成と整備に努める
 - ・園児が生き生きと活動しやすい雰囲気を作るようにする
 - ・集団生活の中で発達に必要な経験を幼児自らが獲得できる環境を構成する
 - ・自分の思いや気付きを安心して表現できる雰囲気や場を作るようにする
- ③ 家庭や地域との連携を深め、信頼関係と協力体制の確立を図る
 - ・地域に学び、地域を活用した教育活動を進めていく
 - ・家庭地域・他園・他校との交流、また子育ての相談等子育て支援と共に開かれた園作りに努める
 - ・こども園の評価（自己評価・外部評価）を園の運営に活かしていく
- ④ 保育者の創意を生かし、協働体制で保育にあたる
 - ・個々の職員が専門性を高め、協力し合って乳幼児を促していく
 - ・保育者自身が、日々生きがいを感じ、自己実現に努める

1 職員自己評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
3 保育者としての資質 や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の性格、発達段階、家庭環境を理解し係るように意識して取り組んだ。 ・締切のあるものや時間などを守るようにし自分のやるべき仕事に責任を持って取り組むようにしている。 ・園児のためにいろいろなことを取り入れ経験さたいと常に思い、保育に取り入れるよう心掛けた。
5 地域の自然や社会と のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩等を通して近所の方と挨拶を交わしたり、野に咲いている花を見たり名前を覚えたり、自然に親しむ取り組みをした。 ・園周辺の環境を利用し、交流や体験をするように努めた。
6 保育の専門性に関する 研修・研究への意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・公開保育や研修に意欲的に参加し、そこで学んだことを他の保育者にも伝える時間をとり共有した。 ・日々変化していく子どもについての状況や課題など新しい情報に興味をもち実践できるように努力していった。
4 保護者への対応・守秘 義務	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートだけでなく園での様子などをこまめに保護者に伝えられるように心掛けた。 ・書類やデータなどの管理の方法を意識できた。

2 これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
2 保育の在り方・3歳 未満児・幼児への対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者全員が園児の情報の共有と共通理解をし、保護者へ伝え忘れないようにしていく。 ・禁止語でない言葉の使い方や子ども一人ひとりに合った言葉かけを心がけるようにする。 ・異年齢の係わりを日頃の保育に取り入れるための計画を立てていく。
4 保護者への対応・守 秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子を、いろいろな手段を使い伝えていくように心掛けていきたい。必要な時は面談を設けたりする。 ・アプリ・お知らせボード・ホームページの活用を検討します。
1 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、担任と支援員等職員間の連携が十分にされなかったところがあるので、報告・連絡・相談を密にしていく。 ・余裕を持って行事や日々の保育ができるよう、見通しを持った保育計画と実践をしていく。 ・子どもの興味や関心のあるものや発想やつぶやきを聞き逃さずそれらを遊びにつなげていけるように計画をたてていく。 ・保護者に保育のねらいや内容が十分に伝わっていなかったため、伝える方法を検討していきたい。
7 地域における子育て 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターの在り方など内容やニーズを検討し良好な子育て支援に繋がるよう考えていく。 ・利用者は少ないが母親がホットできる場になっているので、そこを生かし利用者に寄り添い相談やその他雑談等も受け止めるように努めていく。

3 園評価委員の評価

- ・公立の2園が一緒になったことで子どもたちの心のケアを第1に考えて保育を進められていることに加え、ハード面でも前園のクラス名を引き継ぐなど配慮が見られて良かった。
- ・研究テーマに沿って保育計画をたて、実践されている。
- ・人数が多いので異年齢交流も難しい面があると思うが、園全体で取り組んでいて良かった。
- ・子どもの思いを大切に、一緒に考えたり友達との仲立ちをしたりする姿が見られた。
- ・近くに中学校、図書館、少し行けば小学校、ふれあいプラザ、特養中伊豆があり交流が持てる良い環境にあるので、これから交流を重ね親しみやすい園になってほしい。
- ・年長組の子どもたちの声から、小学校に入学することを意識していると感じた。就学に向けて指導されていると様子うかがわれた。
- ・年齢が低い子どもを預けている保護者ほど、園の計画・保育内容・子どもの様子を知りたいと思うので、こまめに伝えていくほうが良いのでは。
- ・各年齢に合った、ねらいの設定から、それを達成するための保育内容がきちんとできていた。
- ・笑顔で子ども達に接している。先週のあらわれをもとに個へのかかわりが丁寧に書かれており、個への目配り、気配りが出来ているように見えた。
- ・雨の日でも広い活動場所があり、十分な運動量がとれると思う。
- ・職員が多く、子ども一人ひとりによくかかわっている。一人になってしまった子を見逃さない様子が見れた。

4 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・本年度は園評価お取り組みが初回であり、園評価の実践ガイドを元に10月から実施、園評価の流れと内容を把握していくことを目標としました。
- ・自己評価や保護者アンケート、公開保育アンケートに関しデータの集計と意見の取りまとめまで、分析や考察までが不十分でした。今後はデータの分析と考察をした上で、最終の評価委員会で報告ができるようにしたいと思います。
- ・保護者からの評価の低かったものやご意見をいただいたものに関しては、来年度の子ども達の姿を見て、クラス目標・個のねらい等を設定しクラスだよりや個人面談等で家庭に伝えていきたいと思ひます。また子どもについて保護者の方と話せる機会を多くもち、安心していただけるように努めていきたいと思ひます。

《自己評価シート》

1 保育の計画性

単位：％

内 容		全くできていない	あまりできていない	まあまあできている	よくできている
1、園の教育理念・教育方針の理解					
①	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	0.0	17.4	73.9	0.0
②	園の方針、園長の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる	0.0	56.5	30.4	0.0
2、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解					
①	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思いうかべることができる	4.3	39.1	34.8	0.0
3、教育課程の編成と評価					
①	園の教育課程は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をふまえて園の教育理念・教育方針に従い編成している	0.0	4.3	69.6	8.7
②	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	4.3	39.1	34.8	0.0
③	園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	0.0	47.8	30.4	0.0
4、指導計画の作成					
①	指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	0.0	8.7	60.9	8.7
②	行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み込んでいる	0.0	8.7	60.9	4.3
5、環境の構成					
①	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	0.0	26.1	52.2	0.0
②	楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている	0.0	13.0	69.6	0.0
③	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている	0.0	34.8	47.8	0.0
④	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	0.0	21.7	52.2	8.7
⑤	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	0.0	56.5	21.7	0.0
6、保育と計画の評価・反省					
①	自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている	0.0	17.4	69.6	0.0
②	お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	4.3	60.9	13.0	0.0

《自己評価シート》

2 保育の在り方、3歳未満児への対応

単位：％

内 容		全くできて いない	あまりでき ていない	まあまあで きている	よくできて いる
1、健康と安全への配慮					
①	朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている	0.0	7.1	57.1	21.4
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど、適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	0.0	0.0	57.1	28.6
③	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握している	0.0	14.3	50.0	14.3
④	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせるとともに、バランスの取れた発育が促されるように配慮している	0.0	14.3	57.1	0.0
⑤	家庭と連携をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている	0.0	7.1	57.1	0.0
⑥	睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態（呼吸・顔色・嘔吐・汗）、およびSIDS（乳幼児突然死症候群）のチェックを記録している	0.0	0.0	57.1	28.6
⑦	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促している	0.0	7.1	64.3	14.3
2、乳幼児のみとりと理解					
①	乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築いている	0.0	0.0	92.9	0.0
②	一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育している	0.0	14.3	57.1	0.0
3、指導と援助					
[心のよりどころとして]					
①	落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人との関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている	0.0	7.1	78.6	7.1
②	泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	0.0	0.0	92.9	0.0
[遊び・活動の援助者として]					
①	乳幼児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている	0.0	35.7	42.9	0.0
②	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとり、安心感と自己肯定感がもてるような言葉かけをしている。	0.0	7.1	78.6	0.0
③	禁止語を不必要に用いないようにしている	7.1	28.6	50.0	7.1
[その他]					
①	乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている	0.0	7.1	57.1	21.4
4、保育者同士の協力・連携					
①	保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をしている	0.0	35.7	50.0	0.0
②	指導上配慮を必要とする乳幼児については、園全体で話し合い共通理解をもって対応するようにしている	0.0	57.1	14.3	7.1
③	他クラスや異年齢児との触れ合う機会がもてるようにさまざまな工夫、保育の形態に配慮している	0.0	35.7	35.7	0.0

《自己評価シート》

2' 保育の在り方、幼児への対応

単位：%

内 容		全くできていない	あまりできていない	まあまあできている	よくできている
1、健康と安全への配慮					
①	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確かめている	0.0	0.0	33.3	66.7
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	0.0	0.0	22.2	77.8
2、幼児のみとりと理解					
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している	0.0	11.1	66.7	11.1
②	一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	0.0	0.0	77.8	22.2
③	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	0.0	33.3	66.7	0.0
3、指導とかかわり					
[心のよりどころとして]					
①	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受入れ認めるようにしている	0.0	11.1	77.8	11.1
②	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている	0.0	0.0	77.8	22.2
③	幼児の話をよく聞くようにしている	0.0	0.0	66.7	33.3
④	“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	0.0	44.4	44.4	0.0
[遊び・活動の援助者として]					
①	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	0.0	55.6	44.4	0.0
②	幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけをしている	0.0	22.2	55.6	22.2
③	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている	0.0	55.6	11.1	33.3
[その他]					
①	幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている	0.0	11.1	66.7	22.2
②	障がい児が入園した時、個別の対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	11.1	33.3	33.3	22.2
4、保育者同士の協力・連携					
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している	0.0	33.3	44.4	22.2
②	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	0.0	33.3	55.6	11.1
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れている	0.0	66.7	22.2	11.1

《自己評価シート》

3 保育者としての資質や能力・良識・適性(保育者：幼稚園教諭と保育士の総称)

単位：%

内 容		全くできて いない	あまりでき ていない	まあまあで きている	よくできて いる
1、専門家としての能力・良識・義務					
[専門家としての能力]					
①	保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている	4.3	39.1	52.2	0.0
②	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	0.0	21.7	60.9	4.3
③	保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	0.0	39.1	56.5	0.0
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	0.0	4.3	56.5	34.8
[良識とマナー]					
①	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	0.0	4.3	65.2	26.1
②	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表わしている	0.0	0.0	60.9	39.1
③	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	0.0	0.0	30.4	65.2
④	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている	0.0	0.0	65.2	34.8
[義務]					
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	0.0	0.0	73.9	17.4
②	締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	0.0	13.0	56.5	21.7
2、組織の一員としての在り方					
①	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる	0.0	17.4	78.3	0.0
②	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している	0.0	0.0	78.3	13.0
③	当番や役割による仕事を理解し確実にしている	0.0	8.7	78.3	8.7
④	上司の指示、命令には責任を持って実行している	0.0	0.0	82.6	13.0
3、まわりを感じ取れる感性・アンテナ					
①	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	0.0	21.7	73.9	0.0
②	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	0.0	26.1	65.2	4.3

＜自己評価シート＞

4 保護者への対応・守秘義務

単位：％

内 容		全くできていない	あまりできていない	まあまあできている	よくできている
1、情報の発信と受信					
①	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	0.0	47.8	30.4	0.0
②	クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用してわかりやすく伝える工夫をしている	13.0	8.7	47.8	4.3
③	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合っている	0.0	4.3	47.8	21.7
④	保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて、保育や家庭でのあり方について共通理解を得るように努めている	4.3	13.0	56.5	4.3
⑤	定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってよりよい環境づくりに努めている	8.7	26.1	43.5	0.0
⑥	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	4.3	21.7	56.5	0.0
⑦	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	0.0	0.0	87.0	4.3
2、協力と支援					
①	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	0.0	0.0	69.6	17.4
②	必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	13.0	56.5	13.0	0.0
3、守秘義務の遵守					
①	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	4.3	0.0	26.0	65.2
②	秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない	0.0	0.0	8.7	82.6
③	秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	0.0	0.0	26.1	52.2
④	秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は持ち出し届出許可書にて園長の許可を取っている	0.0	8.7	17.4	56.5
⑤	秘密情報の書類、電子データのコピーは施設長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分している	0.0	0.0	30.4	43.5
⑥	秘密情報について新たに知れたことについては、直ちに園長に報告している	0.0	4.3	26.1	47.8
4、対応上のマナー・良識					
①	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	0.0	4.3	78.3	8.7
②	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	0.0	4.3	56.5	30.4
③	電話では、簡潔に要領よく対話する事を心がけている	0.0	4.3	69.6	8.7
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している	0.0	0.0	65.2	21.7
⑤	長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	8.7	13.0	43.5	4.3
⑥	保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	0.0	0.0	43.5	47.8
5、クレームへの対処の仕方					
①	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	0.0	0.0	47.8	26.1

《自己評価シート》

5 地域の自然や社会とのかかわり

単位：％

内 容		全くできていない	あまりできていない	まあまあできている	よくできている
1、地域の自然・人々とのかかわり					
①	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	0.0	0.0	47.8	43.5
②	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	0.0	47.8	30.4	4.3
③	子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	13.0	52.2	17.4	0.0
④	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	0.0	47.8	34.8	0.0
⑤	中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	4.3	21.7	56.5	0.0
2、小学校との連携					
①	園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	0.0	21.7	52.2	13.0
②	小学校の教育内容について理解するよう努めている	13.0	52.2	17.4	4.3
③	小学生が遊びにくることの出来る場（行事等を含む）を設けている	17.4	60.9	0.0	0.0
④	卒業した子どもの情報を得るよう努めている	34.8	43.5	0.0	0.0
⑤	小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	4.3	69.6	4.3	0.0
3、地域の特徴を生かした保育の展開					
①	畑で収穫した野菜で料理など、地域の気候を生かした保育を実践している	8.7	30.4	30.4	4.3
②	高齢者との交流のために、デイサービス交流・行事への参加の呼びかけなど積極的に行っている	4.3	43.5	26.1	0.0

《自己評価シート》

6 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

単位：%

内 容		全くできて いない	あまりでき ていない	まあまあで きている	よくできて いる
1、研修・研究への意欲・態度					
①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	4.3	43.5	39.1	0.0
②	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合っている	0.0	47.8	39.1	0.0
2、遊具・教材に関する専門性の向上					
①	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	0.0	13.0	78.3	4.3
②	園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	0.0	52.2	39.1	0.0
3、園内の環境に関する専門性の向上					
①	園舎の構造（平屋、二階建て）や保育室・遊戯室の位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解している	8.7	69.6	17.4	0.0
②	園庭や田畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かしている	0.0	52.2	39.1	0.0
4、今日的課題に関する専門性の向上					
①	子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもっている	0.0	13.0	82.6	0.0
②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもっている	0.0	8.7	82.6	4.3
③	幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもっている	4.3	34.8	52.2	4.3
④	こどもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもっている	0.0	13.0	78.3	4.3
5、自らを高めるための学習					
①	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある	0.0	56.5	39.1	0.0

《自己評価シート》

7 地域における子育て支援

単位：%

内 容		全くできて いない	あまりでき ていない	まあまあで きている	よくできて いる
1、自園の子育て支援事業の理解（全教職員）					
①	地域開放（親子保育園体験日・行事など）について職員間で共通理解の上取り組んでいる	4.3	30.4	56.5	0.0
②	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にパンフレットやおたよりでわかりやすく説明できる	0.0	56.5	30.4	4.3
③	親しみやすい雰囲気心がけ、利用者に積極的に声をかけている	0.0	21.7	52.2	17.4
2、環境設定（講座および支援センター事業担当者）					
①	子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境を作り、子どもの支援ができる場を作っている	0.0	0.0	8.7	0.0
②	講座等で子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場を作っている	0.0	0.0	8.7	0.0
③	利用者同士（親同士、子ども同士）の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定をしている	0.0	0.0	8.7	0.0
3、支援の姿勢（講座および支援センター事業担当者）					
①	どの利用者にも公平に接している	0.0	0.0	0.0	8.7
②	利用者同士（親同士、子ども同士）の仲間作りを促し、場の全体に気を配っている	0.0	0.0	4.3	4.3
③	価値観、経験、力量などの利用者の多様性を受入れ、それに合わせた対応をしている	0.0	0.0	8.7	0.0
④	利用者が良好な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけている	0.0	0.0	8.7	0.0
4、育児相談（講座および支援センター事業担当者）					
①	課題がある親子に気づき、利用者の気軽な相談を大切に受け止めている	0.0	0.0	8.7	0.0
②	専門的な言葉を極力使わずに、日常的な言葉でわかりやすく伝えている	0.0	0.0	8.7	0.0
③	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報について説明できる	0.0	8.7	0.0	0.0
④	対応が難しいケースの場合に連携すべき専門機関を知っている	0.0	8.7	0.0	0.0
5、支援の評価・反省（講座および支援センター事業担当者）					
①	魅力的な活動、居心地の良い場を維持するために、現状の課題や今後の運営について話し合っている	0.0	0.0	8.7	0.0
②	地域の子育て支援ニーズを把握し、地域に自園の子育て支援事業を紹介している	0.0	8.7	0.0	0.0
③	講座準備等の業務が円滑に進むよう、協力し合っている	0.0	0.0	4.3	4.3

保護者アンケート集計結果

なかいず認定こども園

平成30年3月9日

3月を迎え、今年度の最終月になりました。子どもたちは就学・進級に向けそれぞれ期待に胸を膨らませています。さて、保護者の皆様よりいただいたアンケートについて、集計結果と今後に向けての改善策等を報告いたします。

実施期間 平成30年2月5日～2月13日

配布数 129 回収数 111 回収率 86.0%

※評価 A : と思う B : どちらかといえばと思う C : どちらかといえばそう思わない D : そう思わない E : 無回答

(単位：%)

評価項目	項目	A	B	C	D	E
保育方針・目標	保護者に保育・教育方針や目標をわかりやすく伝えている。	37.2	41.1	7.0	0.8	0.0
	保育者が連携協力して保育に取り組んでいる。	42.6	42.6	0.8	0.0	0.0
活動内容	家庭的な温かい雰囲気での保育に努めている。	52.7	30.2	3.1	0.0	0.0
	子ども一人一人の個性（良さや可能性）を大切にしている。	58.9	24.0	3.1	0.0	0.0
	子どもが自ら考えて遊びに取り組もうとする気持ちを育てている。	55.8	28.7	1.6	0.0	0.0
	外遊びやリズム遊び等で楽しく体力をつける工夫をしている。	59.7	25.6	0.8	0.0	0.0
	あなたの子どもは、園での生活を楽しんでいるようである。	61.2	21.7	1.6	0.0	0.0
心の育ち	子どもが礼儀正しくなるように育てようとしている。	45.7	38.0	2.3	0.0	0.0
	子どもが生き物や植物を大切にしようとする心を育てようとしている。	48.8	29.5	5.4	1.6	0.8
	友だちと仲良くする気持ちを育てようとしている。	62.0	20.9	2.3	0.0	0.8
	してはいけないことなど、ルールを覚える態度を育てようとしている。	62.0	20.9	2.3	0.0	0.8
支援内容・方法	笑顔で、子どもの目線に立って話しかけている。	64.3	20.2	1.6	0.0	0.0
	子どもに温かい言葉づかいや優しい態度で接している。	69.0	16.3	0.0	0.8	0.0
	ほめながら、子どもの意欲や自信を育てるように接している。	69.0	16.3	0.8	0.0	0.0
安全・環境整備	遊具、施設等の安全や事故防止に努めている。	51.9	29.5	4.7	0.0	0.0
	子どもが室内で安心して生活できるように、清潔にしている。	66.7	18.6	0.8	0.0	0.0
	地震、火災、不審者等危機管理に関する対策を行っている。	51.2	30.2	3.9	0.8	0.0
	子どもにとって楽しんで遊べる環境をつくっている。	59.7	24.0	2.3	0.0	0.0
	保護者にとって親しみやすい環境をつくっている。	38.8	38.0	6.2	3.1	0.0
食事	子どもが楽しく食事をする環境づくりに努めている。	51.9	31.8	1.6	0.8	0.0
	子どもの成長やアレルギー等健康状態に応じた食事を考えている。	59.7	20.9	4.7	0.8	0.0
	あなたの子どもは、ランチの時間を楽しみにしている。	51.2	27.1	7.0	0.8	0.0
職員の服務	職務にふさわしい身なり、節度のある行動・態度がとれている。	59.7	25.6	0.8	0.0	0.0
情報管理・発信	連絡帳や便りでは保護者の立場を考えて適切な内容を伝えている。	51.9	28.7	3.1	2.3	0.0
	文書や会話を通して、子どもや園の情報を発信している。	46.5	31.8	4.7	2.3	0.8
	プライバシーを侵害する情報を発信していない。	65.9	17.8	0.8	1.6	0.0
	子どもや園に関する守らなければならない事項を漏らしていないか。	61.2	21.7	0.8	1.6	0.8
家庭・地域	保護者の意見や相談を聞きやすい体制を取っている。	46.5	30.2	5.4	3.9	0.0
一時預かり保育	一時預かり保育を受け入れやすい体制を取っている。	37.2	36.4	4.7	0.0	7.8
子育て支援	就園前の子どもやその保護者が参加しやすい取り組みをしている。	27.1	45.7	4.7	1.6	7.0
認定こども園	就学前まで一貫して保育・教育できることは良いことだと思う。	62.0	20.9	1.6	0.8	0.8